

資料3

●防災訓練テーマリスト

(「地区防災訓練企画担当者向けの災訓練ポイントBOOK」を参考)

2023年6月16日

・基本的な考え方

- ①合同で行う意義は、市職員に協力を依頼する際に人員の集中化が図れること、自治会間の交流が図れることなどである。(例) 合同避難所訓練、合同個別技能訓練
- ②合同で行うテーマは全自治会が平等に成果を得られるものとする。
- ③合同で複数の会場で行う場合は、市との調整で可能かどうか事前に確認の必要がある。
- ④合同で一部の会場で行う場合は、遠くから移動が必要な自治会の都合を尊重の必要がある。
- ⑤訓練は必ずしも合同で行う必要は無く、訓練を各自治会主催で行いその成果を共有して水平展開することも有効と考える。
- ⑥訓練には、一般住民の参加が重要なものと、防災組織だけで行うもの(Menu4)がある。
- ⑦可能な限り、避難行動要支援者、中高生の参加を促進する。

	訓練名称	訓練対象者		訓練主催		優先度
		一般住民	防災組織	各自治会	合同	
Menu 1 防災意識の啓発						
1-1	防災講座	○	○	○	○	B
1-2	防災資機材・防災用品等の展示・紹介	○	○	○	○	B
1-3	防災マップ・啓発紙等の作成		○	○	○	A
1-4	クロスロード		○	○	○	C
Menu 2 自分の身を守る方法を知る						
2-1	地震体験	○	○	○	○	B
2-2	濃煙避難体験	○	○	○	○	B
2-3	マイ・タイムライン作成訓練	○	○	○	○	A
2-4	EVAG (避難行動訓練)	○	○	○	○	B
Menu 3 助ける方法を知る						
3-1	救助・救出訓練	○	○	○	○	A
3-2	搬送訓練	○	○	○	○	A
3-3	応急手当訓練① (心肺蘇生法等)	○	○	○	○	A
3-4	応急手当訓練② (外傷等の応急手当法等)	○	○	○	○	A
3-5	消火訓練① (移動式ホース格納箱)		○	○	○	C
3-6	消火訓練② (消火器)	○	○	○	○	B
Menu 4 組織活動を高める						
4-1	イメージTEN (自主防災組織災害対応訓練)		○	○	○	B
4-2	情報収集・受伝達訓練		○	○	○	B
4-3	安否確認訓練	○	○	○	○	A
4-4	安否・被害状況等確認訓練		○	○	○	B
Menu 5 地域で助け合う仕組み作り						
5-1	避難行動要支援者避難支援訓練 (避難誘導支援)	○	○	○	○	A
5-2	避難行動要支援者避難支援訓練 (避難生活支援)				○	B
Menu 6 避難所での防災活動						
6-1	避難所開設・運営訓練		○		○	A
6-2	避難所運営ゲーム(HUG)		○		○	B
6-3	避難所生活体験訓練	○	○		○	C
6-4	避難所資機材取り扱い訓練		○		○	C
6-5	避難所での応急トイレ対策訓練	○	○		○	C
6-6	避難所での応急給水訓練	○	○		○	C
6-7	避難所での炊き出し訓練	○	○		○	C